

## 地域包括ケアネットワーク No.88

### 地域包括ケアネットワークの構築 —都窪医師会の取り組み—

都窪医師会会長 木村 丹

私たちの医師会では、5年半前の平成28年6月に「都窪医師会包括ケア推進委員会」を立ち上げ、その構築に取り組んできました。4年間は、基本会議、先駆者の講演、医師会と介護支援専門員・訪問看護ステーション・歯科医師会・薬剤師会などとの個別意見交換会、多職種が集うワールドカフェ、多職種が集う懇親会などを精力的に開催し、概念の浸透、face to faceによる他職種との良好な共通意識の向上に大きな役割を果たしてきました。ところが、令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症のまん延により大勢が集まる会議は、ほぼ御法度になり、様々な会議の開催が不可能になりました。

「地域包括ケアシステム構築」が提唱され10数年経ち一定の成果が得られたためか意識がやや薄らぎ、また話題が新型コロナウイルスに移りその陰で包括ケアは滲んだようにも感じられます。一方で、フレイルの人、要介護の人、認知症患者、最期を迎え看取りになる人は年々増え続け、今こそ「地域包括ケアシステム」の原点に戻り、その構築にエネルギーを注ぐことが必要と考えています。

本稿では、当医師会の最近の取り組みを紹介します。

第一は、「病院と診療所の意見交換会」。今年で5回目になり、最近の2回はon lineで開催しました。今年度は計27人が参加、話題は「病診連携」。平日診療時間内での診療所から病院への紹介は極めてスムーズです。エリア外に高度先進医療を提供する大病院も救急車で30分以内圏内にいくつかあり、紹介に困ることはまずありません。問題は夜間と休日ですが、医師会内の2病院（南岡医療センター、重井医学研究所附属病院）は、夜間・休日の当直担当医師名が公表され、電話相談し易く、病院での過去の診療記録がある人はいうまでもなく、診療記録がない初診患者も極めてスムーズに受け入れていただいています。表1は1年間のエリア内の診療所から病院への紹介入院総数とその内休日・夜間での入院患者数です。令和2年度は平成30年度に比べ減少していますが、コロナ禍の影響でエリア外の近隣病院への紹介入院も増えたのでは？と考えられます。

第二は、在宅診療を行う医療機関（21）での、訪問診療・往診の実施数（表2）、在宅での看取り数と死亡原因の調査結果です（表3）。訪問診療と往診は、平成30年度に比べ、のべ件数は令和2年度は減少していますが、在宅での看取り数は増えています。在宅医療を行う医療機関の意識の向上と、病院による後方支援の充実が相俟って、在宅医療での看取りが増えたかと考えられます。在宅での死亡原因は、悪性新生物と老衰が上位を占めています。

第三は、在宅医療を実施する医療機関の実施状況の公表です。各医療機関で実施している医療行為や工夫している特徴を記載した冊子を作成して、近隣の居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院の地域連携室、行政の担当部署等に送付しています。平成29年に作成した冊子（右）を令和3年度に改編し、近日中に配布の予定です。



以上、都窪医師会での最近の地域包括ケアシステム構築を紹介しました。令和4年は、抗体カクテル療法の普及や経口内服薬の開発により新型コロナウイルス感染症は大きな話題から小さな話題に縮小することを期待し、再び「個別意見交換会」、多職種が集う「ワールドカフェ」や「懇親会」が開催できることを強く望み、期待しています。

表1. 都窪医師会エリア内診療所からエリア内の5病院に紹介入院数

	28年度	30年度	R2年度
都窪医師会内診療所からの紹介で入院した患者数	345	478	326
その内、診療時間外 (午後5時から翌朝9時まで、及び休日)	39	69	43
医療機関数(病院)	5	5	5

表2. 過去1年間の在宅医療及び看取り数

	28年度	30年度	R2年度
訪問診療(人)	663	705	1,108
のべ件数(件)	6,838	8,998	8,520
往診(人)	456	431	472
のべ件数(件)	1,201	1,433	1,087
死亡診断書	95	139	148
死体検案書	5	0	1
医療機関数	21	22	21

表3. 看取り患者の直接死因

病名	28年度	30年度	R2年度	病名	28年度	30年度	R2年度	病名	28年度	30年度	R2年度
悪性新生物	15	33	66	心疾患	14	20	12	肺炎	12	16	13
脳血管障害	8	5	5	老衰	14	35	27	認知症	9	3	3
敗血症	0	2	0	慢性呼吸不全	0	1	0	尿毒症	0	1	0
溺死	1	0	0	神経難病	24	17	13	その他	2	1	2
多臓器不全	1	0	8	痙攣	0	1	0	COPD	0	1	0
上部消化管出血	0	2	0	大脳出血	0	1	0	計	100	139	149